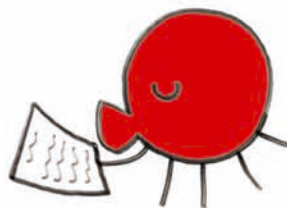


4

事前申請



本人や家族、施工業者との話し合いが終わった後、住宅改修に係る書類を保険者（三原市）に提出します。

***特に注意！！：改修を行う前に事前申請に必要な書類を提出しなければ、保険給付は認められないので注意が必要です。**

話し合いで聴取した本人の希望や改修項目をまとめ、理由書、平面図、工事費内訳書等を作成します。

【事前申請の流れ】

本人・
ケアマネジャー

提出

- 事前申請書（介護保険居宅介護（介護予防）住宅改修費支給に係る届出書）→68ページ参照
- 住宅所有者の承諾書（事前申請書の裏面）→69ページ参照
*住宅の所有者と当該被保険者が違う場合
- 住宅改修が必要な理由書→15, 16, 70, 71ページ参照
- 工事費内訳書及び住宅改修に要する費用の見積書→72ページ参照
*工事費内訳書の中に見積もった金額が入っていれば工事費見積書は不要
- 家屋の平面図→17ページ参照
- 事前写真→13ページ参照

保険者（三原市）

提出された書類を確認し、保険給付対象の改修かどうか確認する

本人・
ケアマネジャー

住宅改修費事前申請確認結果通知を受け取る

理由書

*現在の本人の疾病・障害・高齢化等により、生活の中で生じている困難が、住宅改修をすることによってどのように改善できるかを記入します。以下は各項の記入ポイントです。

- 1 身体状況を踏まえて、日常生活で困っていること（家事困難、外出困難、転倒の危険性等）を記入します。
 - ・疼痛、拘縮、浮腫、しびれの有無、麻痺の程度とそれらが生じた理由
 - ・屋内、屋外での移動方法をそれぞれ記入（伝い歩き、歩行可能な距離、歩幅の大小、杖等の福祉用具を用いているか）
 - ・転倒の危険性
 - ・立ち上がり、バランス、筋力の低下

- 2 介助状況を、誰がどのような介助を行っているかを記入します。
 - ・主な介助者とその他の介助者の協力
 - ・訪問・通所サービスの利用
 - ・何を介助し（入浴等）、どの程度（一部介助等）介助が必要か
 ↳ 入浴、食事、掃除、排泄、衣服の着脱、移動など

- 3 住宅改修により本人は日常生活をどう変えたいかを記入します。
 - ・生活を送る上で家のどの箇所に支障があるか現在の生活状況と困っていることを記入します。
 - ・住宅改修をすることによってどのように変化が起こるか、介助量の軽減、転倒予防、外出しやすくなるか等を記入する
 良い例：玄関の上がり框が高く、下肢筋力低下のためふらつき、転倒の危険性があるため、手すりを取り付けることで安全に出入りができるようになる。
 悪い例：「安全・安楽に生活できる」「トイレの利用が容易になる」*抽象的で分かりにくい

- 4 住宅改修をする前の使用している福祉用具と、住宅改修をした後に使用すると考えられる福祉用具を記入します。
 - ・その他には四脚杖やT字杖等の記入をするとより詳しくなる

＜総合的状況＞		4 福祉用具の 改修後の想定		
		改修前	改修後	改修後
利用者の身体状況	1			
介護状況 (主な介護者含む)	2			
住宅改修により、 利用者は日常生活を どう変えたいか	3			
		<ul style="list-style-type: none"> ●車いす (車いす付属品を含む) ●特殊寝台 (特殊寝台付属品を含む) ●じょこ備予防用具 ●体位変換器 ●手すり ●スロープ ●歩行器 ●歩行補助つえ ●痴呆性老人徘徊感知機器 ●移動用リフト (つり具の部分を除く) ●腰掛便座 ●特殊尿器 ●入浴補助用具 ●簡易浴槽 ●移動用リフトのつり具部分 ●その他 () () 		

*理由書の1枚目を踏まえたうえで、どんな住宅改修をしたら改善できるかを具体的に記入しましょう

5 改善しようとしている動作にチェックを入れます。

6 5でチェックした項目について問題点、生活動作の現状、介助の状況を具体的に記入します。

・「困難がある」という漠然とした表現にはしない。

良い例：トイレには掴まる物がないために、便座からの立ち上がりが難しい。

悪い例：トイレ動作の自立が困難である。

*排泄、入浴、外出、その他に共通するトイレまでの移動、浴室までの移動、出入り口までの屋内移動について、その動線が同じようであれば、例えば「排泄」の欄のみに記入して、各活動の欄に重複して記入する必要はない。

7 改修目的・期待する効果をチェックし、改修をすることで、何が改善できるか、期待効果を記入します（〇〇〇することで〇〇〇が改善できる等）。

例：トイレの壁に手すりを設置することで転倒を防止し、安全の確保ができる。

8 ・各活動の問題点を改善するために、行う改修箇所を記入します。

例：「手すりの設置」→玄関上がり框段差部、トイレ出入口柱等

・事前写真と照らし合わせて書くとわかりやすい

<P1の「住宅改修により、日常生活をどう変えたいか」を踏まえて、①改善しようとしている動作②具体的な困難な状況③改修目的・期待効果④改修項目を具体的に記入してください。>

5	6	7	8
①改善しようとしている動作	②①の具体的な困難な状況(…なので困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
排泄 <input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 <small>(扉の開閉含む)</small> <input type="checkbox"/> 便座への着座・厚いす <small>等からの移動</small> <input type="checkbox"/> 衣服の履脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことできる <small>ようにする</small> <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 手すりの設置 () () () () () ()
入浴 <input type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の履脱 <input type="checkbox"/> 浴室出入口の出入 <small>(扉の開閉含む)</small> <input type="checkbox"/> 浴室内での移動 <input type="checkbox"/> 浴槽の出入 <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持 <small>(洗体・洗髪含む)</small> <input type="checkbox"/> 浴槽内での姿勢保持 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことできる <small>ようにする</small> <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 段差の解消 () () () () ()
外出 <input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、器具の履脱 <input type="checkbox"/> 履物の履脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入 <small>(扉の開閉含む)</small> <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことできる <small>ようにする</small> <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え () () () () ()
その他(行動) <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> できなかったことできる <small>ようにする</small> <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 滑り防止等のための床材の変更 () () () ()

* 自己評価、改修後、効果のあったものにレ点チェックを入れる。

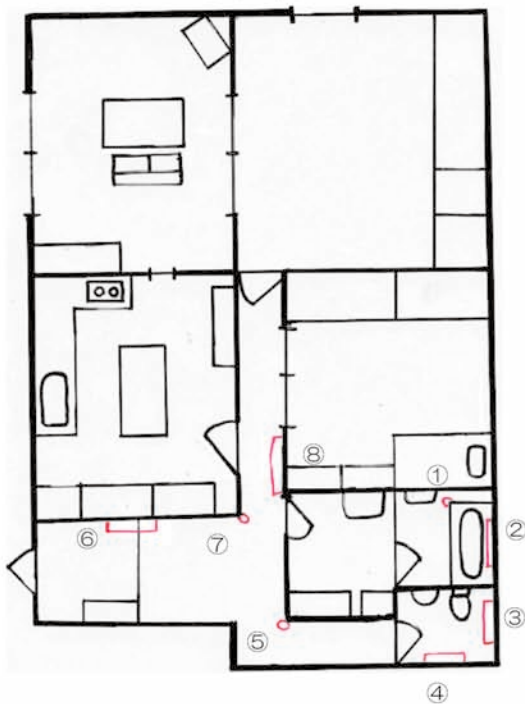


平面図

平面図は本人が屋内や屋外をどのように動いているかという動線を知るために用いられます。そのため、本人の日常生活をよく観察し、本人や家族からも聴取をして、動線上に手すりやスロープ、段差解消をする箇所を描き込みます。また、図面上に手すり等の改修を描き加えることで、浴槽や便器との位置関係も把握することができます。

- ・手書きでもよいが、定規を使う等して見やすい図面にします
- ・トイレや浴槽、洗面台や大きな家具を図面に書き込むと、実際の生活状況を把握しやすくなります
- ・手すり等の位置を図面に書き込むと、位置関係がわかりやすくなります
- ・窓を描くと、玄関以外の外出の方法が考えられます
- ・扉の位置や、種類（開き戸や引き戸等）を描き込むことで本人が困っている原因がわかりやすくなります
- ・改修箇所、見積り、事前写真を照合できるように番号をつけます

良い例



悪い例

